



OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

W E E K L Y R E P O R T

設立 昭和63年(1988)5月23日
 事務所 〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-7-3 大丸北炭屋町ビル6階
 TEL. (06) 6244-1008 FAX. (06) 6244-1010
 WEB. http://sembarotary.club E-mail: semba@cocoa.ocn.ne.jp
 例会 毎週月曜日・12時30分・ホテル日航大阪 Tel. (06) 6244-1111

会長 伊藤清一 幹事 林拓 会報広報委員長 岡野秀章

四つのテスト／言行はこれに照してから Ⅰ. 真実かどうか Ⅱ. みんなに公平か Ⅲ. 好意と友情を深めるか Ⅳ. みんなの為になるかどうか

第1315回 例会 2018年(平成30年)2月26日

(平和と紛争予防/紛争解決月間)

本日のプログラム	(本日のプロGRESS 大久保 英範 副SAA)
○ ロータリーソング 「奉仕の理想」	
○ 会長の時間 ◎ 幹事報告 ◎ 委員会報告 ◎ ニコニコ箱報告 ◎ 出席報告	
○ 次年度方針発表 伊藤 清一 会長・松谷 廣信 会長エレクト	
○ 第10回30周年実行委員会 31階「カトレア」13:40~15:00	

前回(2月19日)例会記録

◇**プロGRESS** 大久保 英範 副SAA

1. 来客紹介

親睦委員長

ゲスト: 1名 地区外: 0名 地区内: 0名 合計: 名

ゲスト: フィジー共和国大使館 2等書記官 Kelera R. Savu 様

×……………分
 ……
 ……
 ……
 ……
 ……
 ……

2. 会長の時間 伊藤 清一 会長



皆様、こんにちは。先週の金曜日の16日が旧正月でこの週末も中国から、また東南アジアから旅行者が日本に押し寄せ、ここ心斎橋界限は外国人でいっぱいになっております。

さて昨日までの日本のオリンピックのメダル獲得数が10個ということですが、男子フィギュアで金銀両メダルを獲得したことで一気にオリンピックに対する関心が高まってきたように思います。

とりわけ、羽生結弦選手が昨年11月に負傷して以来の試合出場で、私はメダル獲得が難しいのではと思っておりましたが、金曜日の1日目のショートプログラムで、神がかりな演技で私たちに金メダルの期待を持たしてくれました。そして2日目のフリーも必死で頑張って見事2回連続の金メダルを獲得してくれました。金メダル獲得後のインタビューで、「勝つためには他をすべて捨てました。全部が全部、欲しい、何もかも手に入れたいけれども、すべてを捨てなければ金メダルは取れない。普段において今の幸せはいらない。」と話をしていました。すべてを犠牲にしてもこのオリンピックで金メダルを取りたい。23歳という若さでこれだけのことが言えることは、すごいことだと思います。私など海外旅行に行きたい。新規事業を起こしたい、オペラを聞きに行きたい。もちろん奉仕活動もしたい。今期の会長職もこなさないといけない。あれもこれも手に入れたい。と思っているのですが、正直羽生君のインタビューを聞いていて恥ずかしくなってきました。

そして同じ土曜日に羽生選手と同じ名前、読み方は違いますが将棋の羽生竜王、最近国民栄誉賞を受賞されましたが、若干15歳の藤井聡太君と対戦をして敗退しました。金メダルを取った23歳の羽生君、そして6段に昇格した15歳の藤井君。また2週間前にもお話ししましたが、20歳代の上場会社の社長も登場しています。世の中どんどんと若い人たちが世の中に台頭してきました。

とはいえ一方では私たちの目から見てどうにもならない20歳代の若者もいます。世の中は圧倒的にこの人たちの方が一般的なのかもしれませんが。何より違うのは目標を持って行動を起こしている人達と、何も考えず目標もなく日々を過ごしている人達の差。今の日本のゆとり教育がそんな若者をたくさん作り出しているように思います。

先週はインドに観光で行って来ました。インド人のガイドの記憶力の良いことにびっくりしたのですが、私たち参加者23人の顔と名前をすぐに覚えてしまいました。インド人の記憶力、数学力は素晴らしいのですが、それはインドの学校教育によります。一方、今のような日本の学校教育ではますます国が衰退していくような気がしております。

ところで今週土曜日はロータリーデーが開催されます。当クラブからは14名の参加予定ですが、よろしくお願ひします。

3. 委員会報告

◎国際奉仕委員会 澤田 宗久 委員

いつも歯科医療奉仕活動にご理解ご支援頂きありがとうございます。

この度2月15日(木)にフィリピン共和国カオハガン島から、ボランティア活動を終えて、10名全員無事帰国致しました。

今回は歯科医師4名、歯科技工士2名、歯科衛生士2名ボランティア2名 総勢10名で活動を行いました。

活動中台風2号に見舞われ、島の小さな公民館の床が雨漏りで水浸しとなりながら歯科治療を行なっていました。

幸い、帰国時は風雨も収まり、無事帰国できました。

2月21日(水)には年3回外部教諭をしています、八尾市立竹渚小学校において国際奉仕委員長・溝端史子会員と共に、国際ボランティアについての授業を行ないます。対象は、5・6年生です。授業の後に子ども達と共に給食を頂くのが楽しみです。

尚、5月に行われます、地区職業奉仕委員会議において、出前授業の事を発表致します。

これからも、未来を築く子ども達の為に、自分がすこしでも役に立てる事を、ロータリアンとして伝えていけるように頑張りますので、宜しくお願い致します。

4. ニュニコ報告 藤井 宏明 親睦委員

大阪心齋橋 RC 佐伯良様・・・伊藤会長、片岡実行委員長、30周年御案内にわざわざお出ましを頂き、御丁寧に有難うございました。

伊藤 会員・・・心齋橋 RC の佐伯様、お越しいただきありがとうございます。

澤田 会員・・・フィリピン共和国からサブ・クレラ様が国際奉仕

フォーラムに東京から来ていただきました。

ありがとうございました。

いつも歯科医療奉仕活動にご理解、ご支援いただき、ありがとうございます。15日(水)フィリピン共和国カオハガン島より歯科医療奉仕活動を終え、10名全員無事帰国いたしました。

斧原 会員・・・結婚記念日の美しい「蘭」の花を有難うございました。

松永 会員・・・当社でハーモニカ教室の案内を入れさせて頂きました。最近大人の方に広がっておりますので

ご興味のある方はお気軽に試して下さい。国際楽器社 松永

新川、大久保、中村、北野、島田、宮原、松谷、井澤、藤井、小島、俣野、大磯、溝畑、岩崎、小山、岡本(茂)、平山、岡本(真)、杉浦、カンタトーレ、武田、

各会員・・・フィジー大使館 2等書記官クレラ・サブ様をお迎えして

5. 出席報告 大久保 英範 副SAA

会員総数 39名 出席率計算会員数 38名 出席会員数 31名 出席率 82%

第1313回(1月29日) 修正出席率 100%

6. 国際奉仕フォーラム フィジー大使館 2等書記官クレラ・サブ 様



フィジー ボランティア サービス

フィジー共和国は、南太平洋の約330の島々からなる国です。全島の陸地面積は1万8,333平方キロメートル(四国とほぼ同じ大きさ)、首都はスバです。2017年の調査では、総人口は884,887人。その内、55.9%が都市部に住んでいます(2017年、フィジー統計局)。フィジーは多民族国家なので、英語(公用語)の他、フィジー語、ヒンディー語を使用しております。フィジー系はほぼ100%キリスト教、インド系はヒンズー教、イスラム教もあります。

人種別では、フィジー人が約58%、インド人が約38%です。フィジー系のほとんどがキリスト教徒で、インド系はヒンズー教などです。

2016年のサイクロンウィンストンの被害によりフィジーは大きな経済的打撃を受けました。現在もその復興計画が継続されています。

さて、フィジーボランティアサービス(FVS)とは、2012年にスタートした国家雇用センターの4つの雇用創出サービスの一つです。ボランティアを通じてサービスの提供を強化するため、新卒者に職場環境を広げる機会を、そして退職者にはそのスキルや知識を共有する機会を提供しています。フィジーの近隣島嶼国への開発協力活動の一環としての、FVSは労働人口能力の向上による開発の促進支援を実施しています。フィジー政府は、毎年フィジーボランティアサービスのために、予算を計上しています。

Fiji Volunteers Scheme (FVS)には3つのレベルがあります。

i. 新卒者ボランティア制度

仕事の経験や目的意識、フィジー人としての誇りを学ぶことを目的とし、フィジー国内大学の新卒者に向けて適応されます。活動分野は、国家/地域社会の課題、データ収集と処理、研究、気候変動、緑の開発、国境を越えた問題に対する意識の創造など、多分野に渡っています。

ii シニアボランティアスキーム(国内):

教育、食品関係、栄養関連、地域社会の健康、環境、農業、防火、災害管理、災害被害緩和などの特定分野での職務経験のある、有能で経験豊富な定年退職者ボランティアの派遣を行っています。

iii シニアボランティアスキーム(太平洋島嶼国地域):

教育、環境、災害管理と災害被害緩和、食糧と栄養、地域社会の健康、農業、保全実務などの分野で、有能な職務経験者が6~24ヶ月間、太平洋島嶼国でシニアボランティアとして活動しています。

ボランティアの勤務条件:月額報酬は受け入れ機関/組織とフィジー政府がそれぞれ50%支給、渡航費はフィジー政府が提供し、滞在施設や公務での国内交通費は受け入れ機関/組織が提供します。

FVSの太平洋島嶼国地域での活躍

FVSを通じて、これまでに、ナウル、バヌアツ、ツバル、マーシャル諸島に合計61人が派遣され、良い結果を残しています。各国からは退職した教育者や看護師の要請が多く、キリバス政府も関心を示しており、今後が期待されています。

FVS国内の活躍

国内でのFVSプログラムは、大学新卒ボランティアや、地元の組織や政府機関での職務経験がありながら失業した有能な職務経験者や定年退職者などを対象としています。この制度下で、教育セクター、保健セクター、IT、環境、林業、管理、文化&遺産、気候変動、議会、国際関係などに、ボランティアが従事しています。これまでに、青少年ボランティア43名、シニアボランティア9名、計52名を派遣しました。

フィジーと日本の関係

二国間には47年間の外交関係があり、資源、ビジネス、貿易、観光、スポーツなど様々な相互関係を結んでいます。

いろいろな分野において JICA の技術援助を受けています。サイクロンウィンストンの発生時には迅速な対応を頂きました。

また、年間 30～40 名のフィジー人学生が奨学金を受けています。経済の課題としては、両国間の貿易拡大、特に日本との貿易赤字、フィジー人労働力の日本参入などがあげられます。駐日フィジー共和国大使館としては、これらの課題について政府高官間の意見交換に努めています。

両国間における今年の大ニュースは、直交便が 7 月 3 日に復活することです。駐日フィジー共和国大使館は、フィジーへの貿易・投資促進、日本からの観光客の誘致、市民レベルでの交流の促進などにまい進しています。私たちのミッションの一環として、直交便開始直後に、「ビジネス開発と投資のワークショップ」を 7 月 9 日・10 日にフィジーで開催します。ワークショップの詳細については、追ってご連絡いたしますが、どうぞ皆様是非ご参加ください。今日はどうもありがとうございました。

Ms. Kelera Rakavosa SAVU

サブ・クレラ ラカボサ

履歴書

年齢:38 歳

生年月日:1979 年 10 月 24 日

国籍:フィジー共和国

学歴

フィジー共和国の高校卒業後、文部科学省の奨学生として、1998 年 4 月から 2001 年 3 月まで関西国際学友会日本語学校にて日本語、大阪のエールネットワーク専門学校にてホテル学科・ホテルマネージメントを学ぶ。

2001 年 4 月から 2007 年 9 月までは、関西大学にて国際ビジネスを学び、商学学士、商学修士を得る。

現在は、ウォールデン大学(アメリカ)にて、公共政策行政(地方行政管理)の博士号取得中。

職歴

在日フィジー共和国大使館に、商務官として勤務後、2012 年 11 月 1 日、外交官・二等記官を拝命、現在に至る。

大使館勤務以前は、2007 年 4 月より、1 年間東京の Thought-s Ltd. にて、セールス・マーケティング担当として勤務。

趣味

読書、ウォーキング、バドミントン

★3月例会予定★

日		司会	プログラム	歌	その他
5	水と衛生月間 ・3/12 合同情報集会	小山	卓話:西村会員	「君が代」 「四つのテスト」	お誕生日お祝い 理事会 4階「藤の間」13:40～14:40 ※例会場は7階「フォントナ」に変更
12		小山	フィリピン帰国報告 :澤田会員	「船場ソング」	
19		小山	フリートーク: 30周年について	「それでこそロータリー」	次年度理事会 31階「ローズ」 13:40～14:40